

## 女性研究者研究活動支援事業（拠点型）

(実施期間：平成 25～27 年度)

実施機関：広島大学（総括責任者：越智 光夫）

## プロジェクトの概要

- (1) 体制及び活動内容：女性研究活動委員会を全学委員会として設置し、委員長（女性の教授）を教育研究評議会評議員とする。また、本学のキャリアセンター、男女共同参画推進室、人材育成推進室、産学・地域連携センター、若手研究人材養成センター、研究企画室と連携することにより、アドバンスト支援、キャリアスタート支援、共同研究支援、他機関連携を推進する。さらに、本委員会に産学官連絡会を設置し、学内における取組と他機関連携の取組を効果的に進める。
- (2) 普及対象となる機関：本学の若手研究人材養成センターの連携企業群及び産学・地域連携センターの会員企業群。主として、中国四国地方の国公立大学・公的機関及び企業。

## (1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	a	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

## (2) 評価コメント

中国地域の女性研究者の現状分析を十分に行い、実施機関を中心とし、中国地域の教育・研究機関、自治体、企業等からなる産学官による女性研究者の支援と養成の基盤を構築した。さらに、女性研究者の活躍促進に向け地道な取組を進め、実施機関における取組と他機関と連携する取組を相乗的に推進する体制を構築し、女性研究者数の増加、産学共同研究の促進等の成果を上げたことは、評価できる。今後は、連携する 32 機関全体の成果を精査し、取組の更なる発展を図ることを期待する。

- **目標達成度**：女性教員在職比率、若手女性研究者の企業との共同研究実施率、シニア女性研究者の大型プロジェクトの開始に関する目標は達成されており、評価できる。一方、連携機関における女性研究者の在籍比率については、事業開始時における 3 つの連携機関は目標を達成しているものの、他の連携機関は、目標及び達成度を明確にしておらず、今後は、連携する 32 機関全てが目標を設定し、達成度を精査することを期待する。
- **取組**：女性教員の採用を増加させるため、テニュア教員及びテニュアトラック教員に係る女性限定公募を実施し、また、優れた女性教員の業績に見合った昇任を進めるため、ポストアップ制度を継続して実施したことは、評価できる。さらに、中国地域の教育・研究機関、自治体、企業等、32 機関との産学官連絡会を創設し、キャリアスタート支援、アドバンスト支援、共同研究支援の取組を連携して実施したことも評価できる。
- **取組の成果**：実施機関と連携機関で行った若手研究者シーズ発表会や女性研究者研究交流会、

女性研究者シーズ集の配布等の取組により、女性研究者による産学共同研究の促進や大型プロジェクトの獲得に繋がったことは評価できる。さらに、実施機関と3つの連携機関において、女性研究者の在籍比率が目標値を上回ったことも評価できる。今後は、3つの機関以外の連携機関において、女性研究者が継続的に増加することを期待する。

- **実施体制**：学長のリーダーシップの下、事業全体の統括組織として「女性研究活動委員会」を創設するとともに、同委員会の直下に他機関との連携を図る「産学官連絡会」を設置し、実施機関における女性研究者支援と連携機関における女性研究者支援を相乗的に推進する体制を構築したことは、評価できる。また、教育研究評議会の評議員となる女性教授を「女性研究活動委員会」の委員長として任命したことも評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：実施期間終了後も、「女性研究活動委員会」及び「産学官連絡会」を継続して設置し、事業を展開するとともに、新たに「ダイバーシティ研究センター」を設置するなど、取組の発展に向けた体制を整備したことは評価できる。また、取組を継続するための自主経費も十分確保されており、評価できる。